
日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 講習・試験免除承認システム 学校向けガイド



公益財団法人

日本スポーツ協会

スポーツ指導者育成部 免除適応コース担当

TEL : 03-6910-5813

E-mail : tekiou@japan-sports.or.jp

2024.4.1 ver1.5

目次

目次.....	1
本ガイドについて.....	2
0. 公認スポーツ指導者制度とは.....	4
1. 講習・試験免除承認システム、免除適応コースとは.....	8
2. 講習・試験免除承認システムの改定	9
3. 資格取得までの流れ.....	10
3-①. コース承認申請.....	12
3-②. 履修.....	16
3-③. 専門科目検定試験	17
3-④. 受講完了申請	18
3-⑤. 共通科目検定試験（オンラインテスト）	19
3-⑥. 資格登録.....	20
Q&A.....	23
各種規程・資料・様式等	24

本ガイドについて

- ・本ガイドは、「講習・試験免除承認システム」の学校担当者向けに作成したものです。本ガイドの内容を無断で転載、公表等しないようにしてください。
- ・本ガイドでは、講習・試験免除承認システムの概要をお示ししています。手続きの詳細については、当該手続きを行っていただく段階で別途ご案内いたします。
- ・本ガイドは、令和 2(2020)年度からの講習・試験免除承認システムの一部改定後の内容に基づいています。一定の期間は改定前の対応が残ることとなりますが、その内容についても、当該手続きを行っていただく際に、別途ご案内いたします。

改訂履歴

バージョン	発行日	改定内容
1.0	2019.11.07	初版発行
1.1	2020.09.11	P6 登録手続きに関する図表を追加 P15 養成主任の配置義務の猶予年度を変更 P17 「各資格共通の注意事項」を追記 P19 オンラインテストの合格ラインの表現を変更
1.2	2021.10.12	P8 日本体育施設協会の名称を日本スポーツ施設協会に変更 P22 セーリング競技の資格別登録料を 0 円から 4,000 円に変更
1.3	2022.11.08	P8 開設可能科目にバドミントンを追加 P16 管理システムマニュアルへのリンクを追加 P21 初期登録手数料の金額を変更（2023.4 登録～）

0. 公認スポーツ指導者制度とは

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度（抜粋）

〈趣旨〉

1. 公益財団法人日本スポーツ協会（以下「JSPO」という。）及びJSPO 加盟団体等は、**スポーツ文化を豊かに享受するというすべての人々がもつ基本的な権利を保障するため、「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度」を制定し、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を公認スポーツ指導者として育成することにより、望ましい社会の実現に貢献する。**

公認スポーツ指導者育成の基本コンセプト

日本スポーツ協会及び加盟団体等は、スポーツ文化を豊かに享受するというすべての人々がもつ基本的な権利を保障するため、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を公認スポーツ指導者として育成し、望ましい社会の実現に貢献する。

公認スポーツ指導者とは

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、**プレーヤーズセンタード***の考え方のもとに暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる者。

***プレーヤーを取り巻くアントラージュ自身も、それぞれの Well-being（良好・幸福な状態）を目指しながら、プレーヤーをサポートしていくという考え方。**

資格の種類

5つの領域と18種類の資格が存在します。

以下の★の資格は免除適応コースで取得が可能な資格です（競技別指導者資格は一部の競技のみ）。

（1）スポーツ指導者基礎資格

★スポーツリーダー

***新規養成中止（免除適応コースでの養成は除く）**

★スポーツコーチングリーダー

***スポーツリーダーに代わる資格**

（2）競技別指導者資格

・スタートコーチ

★コーチ1

★コーチ2

★コーチ3

・コーチ4

★教師

・上級教師

（3）メディカル・コンディショニング資格

・スポーツドクター

・スポーツデンティスト

★アスレティックトレーナー

・スポーツ栄養士

（4）フィットネス資格

・フィットネストレーナー ***新規養成中止**

★スポーツプログラマー

★ジュニアスポーツ指導員

（5）マネジメント指導者資格

★アシスタントマネジャー

・クラブマネジャー

公認スポーツ指導者資格を取得する方法

資格を取得するための方法は主に以下の2つがあげられます。

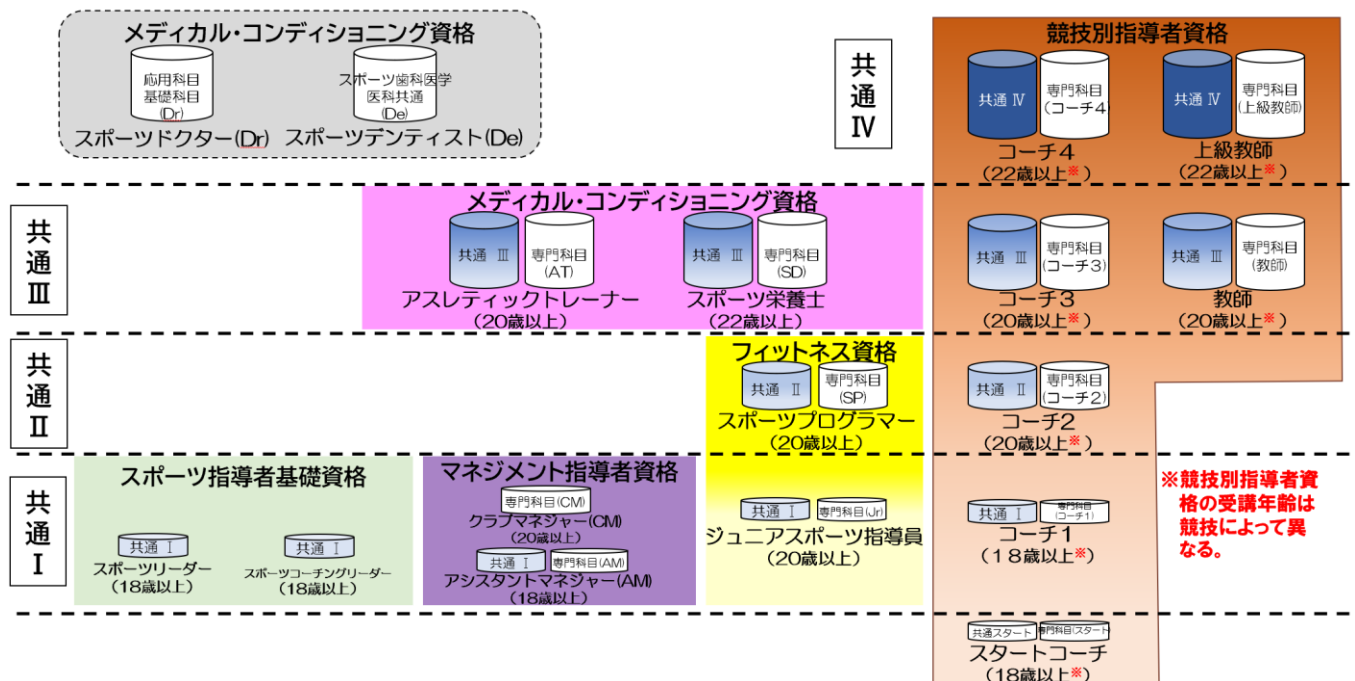
①日本スポーツ協会や都道府県体育・スポーツ協会、競技団体等が実施する養成講習会に参加する。

* 保有している資格に応じて一部またはすべての免除が可能

②承認を受けた大学・短期大学、専門学校で所定の教育課程を履修する **(講習・試験免除適応コース)**。

公認スポーツ指導者養成講習会カリキュラムの概要

公認スポーツ指導者養成講習会のカリキュラムは、一部資格を除き* 共通科目と専門科目で構成されており、双方の修了が必要となります。



【カリキュラム関連図】

* スポーツリーダー、スポーツコーチングリーダーは専門科目がなく、共通科目 I のみ

* スポーツドクター、スポーツデンティストは、共通科目がなく、それぞれ独自のカリキュラム体系

登録・認定・更新

認定とは

資格を取得したスポーツ指導者が、それぞれの指導現場でより良い指導を行うことができる環境整備を目的に、日本スポーツ協会では指導者の「認定管理」を行っています。

「認定管理」を行うことで、スポーツ指導者に必要な情報の提供、資格取得後の活動サポート体制の構築、または各指導者の資質向上や社会的地位の確立に向けた取り組みが可能となっています。

登録と認定

日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度（第6条）では、「公認スポーツ指導者の認定は、別に定める登録規程により、登録手続きが完了した者を対象とする。」としており、養成講習会等の修了者であっても、登録手続きを行わなければ資格は認定されません。

また、認定日は10月1日付と4月1日付の年に2回設けられています。

有効期間・更新登録

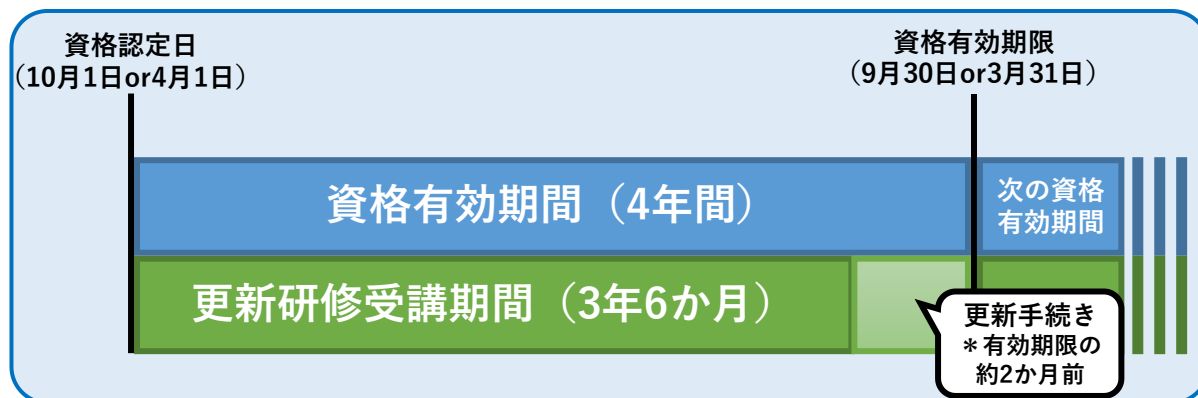
資格の有効期間は4年間と定められており、4年ごとに更新登録手続きが必要です。有効期限を過ぎても更新登録しない場合には、公認スポーツ指導者の資格を失うこととなります。

なお、更新登録のためには、有効期限の6か月前までに所定の更新研修を受講しなければなりません。

この研修は、単に資格を更新するためだけのものではなく、指導者がスポーツに関する最新の知識・情報等を獲得し、国民のスポーツに対するニーズを敏感に捉えて、実際の指導場面に活用できるようその資質能力を向上させるとともに、指導者間の情報交換やネットワークづくりなど、相互の交流を図ることを目的として開催しているものです。

更新研修は、日本スポーツ協会、都道府県体育・スポーツ協会、中央・都道府県競技団体等が開催しています。資格・競技によっては、複数回の研修受講が必要であったり、競技別の研修に限定されている場合があります。

■更新研修受講期間のイメージ

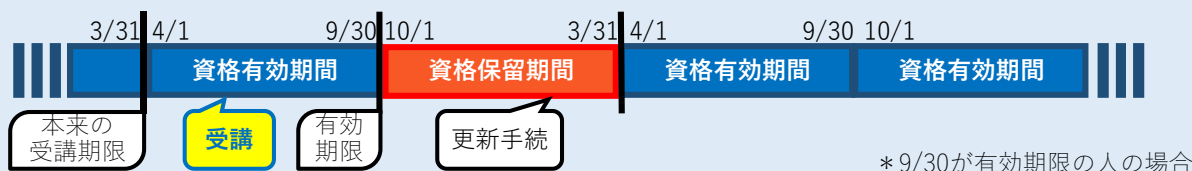


再登録・復活登録

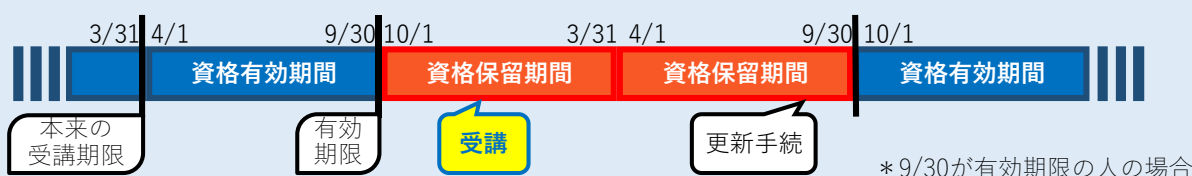
有効期限の6か月前までに更新研修を受講できなかった場合、有効期限の翌日から、資格保留期間となります。研修を受講いただければ資格を継続できますが、受講のタイミングによって、再登録の取り扱いが異なります。

■本来の更新研修受講期間に受講できなかった場合

パターンA：有効期限の6か月前～有効期限までに受講⇒半年の資格保留期間を経て再登録が可能



パターンB：有効期限切れ～有効期限切れ後6か月以内に受講⇒1年の資格保留期間を経て再登録が可能



パターンC：有効期限切れ後6か月以内に受講できなかった⇒専門科目実施団体による審査が必要
※審査の詳細は資格によって異なります。それぞれの専門科目実施団体にお問い合わせください。

1. 講習・試験免除承認システム、免除適応コースとは

日本スポーツ協会（以下、JSPO という）は、資格毎に定められたカリキュラムと同等の教育課程を設定する大学・短期大学、専門学校について、所定の審査を経て「免除適応コース」として承認しています。

承認を受けた学校において当該教育課程を履修した者は、所属学校を通じて JSPO に申請することにより、当該資格養成講習会の講習・試験の全てまたは一部を免除することができるシステムを「講習・試験免除承認システム」と呼称しています。

* 「免除適応コース」とは申請する個々のコースのことをいう。

免除適応コースで資格を取得するメリット

- ・ **時間的節約**：通常の講習会では、平日を含めた 4 日連続の講習会に参加する（共通科目Ⅲ集合講習会の場合）など、ある程度の時間の確保が必要ですが、免除適応コースでは学校の授業（単位取得）で資格が取得できるため、効率よく資格が取得できます。
- ・ **金銭的節約**：資格取得までにかかる金額は資格によっても異なりますが、受講料や交通費が必要ないため、通常の講習会を受講するよりも、安価に資格が取得できます。

免除適応コースで開設できる科目（資格） * 2023 年度以降

2024 年 4 月現在

	コース（資格）名		審査団体	
共通科目	共通科目Ⅰ	＊共通科目Ⅰ以上でスポーツコーチングリーダーの取得が可能（旧制度ではスポーツリーダー）	日本スポーツ協会（JSPO）	
	共通科目Ⅱ			
	共通科目Ⅲ			
専門科目	ジュニアスポーツ指導員			日本スポーツ協会（JSPO）
	アシスタントマネジャー			
	アスレティックトレーナー			
	スポーツプログラマー		日本スポーツ施設協会	
	水泳	コーチ１、コーチ３、教師	日本水泳連盟	
	テニス	コーチ１、コーチ２、教師	日本テニス協会	
	ホッケー	コーチ３	日本ホッケー協会	
	バレーボール	コーチ１	日本バレーボール協会	
	セーリング	コーチ１	日本セーリング連盟	
	ハンドボール	コーチ１ ＊コーチ３の継続申請は 2022 年度まで可能	日本ハンドボール協会	
	ソフトテニス	コーチ１	日本ソフトテニス連盟	
	アーチェリー	コーチ１	全日本アーチェリー連盟	
	空手道	コーチ１	全日本空手道連盟	
	ボウリング	コーチ１	全日本ボウリング協会	
	エアロビック	コーチ１、教師	日本エアロビック連盟	
	バドミントン	コーチ１、コーチ２	日本バドミントン協会	

2. 講習・試験免除承認システムの改定

令和元(2019)年度から公認スポーツ指導者制度を改定施行したことに伴い、講習・試験免除承認システムも令和2(2020)年度から改定いたしました。

主な改定内容

講習・試験免除承認システムの改定に伴う主な変更点は以下のとおりです。

共通科目コースのカリキュラム・審査方法の変更

- ・科目内容対応表とその対応方法
- ・時間数
- ・養成主任（コーチデベロッパー）の設置（P15 参照） など

修了要件の変更

- ・卒業年次より前の申請が可能（一部の競技・資格は除く）
- ・修了証明書発行の廃止 など

改定に伴う対応

改定に伴い、一定の期間は移行期間として、従来への対応を継続したり、義務を猶予する場合があります。詳細は項目ごとに後述するほか、各手続きを行っていただく際にご案内いたしますが、新しい制度と従来での対応が異なる点については、「新制度対応」「旧制度対応」とそれぞれ記す場合があります。

なお、新制度と旧制度どちらの対応に準拠するかは、原則、当該手続きを行う学生が、新共通科目カリキュラムの修了要件に対応しているか否かに依ります（修了要件は P20 参照）。

また、令和2(2020)年度以降に新規校として申請する学校については、旧制度対応は原則不可とします。

* 公認スポーツ指導者制度及び講習・試験免除承認システムの改定内容の詳細は、令和元(2019)年6月から7月に開催した説明会資料をご確認ください。

▼ 免除適応コース申請書式ダウンロード【承認校・申請準備校専用ページ】

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid929.html>

■ 講習・試験免除承認システム改定に関する説明会資料

↳ 公認スポーツ指導者制度の改定について[PDF]

↳ 講習・試験免除承認システムの改定について[PDF]

* 本ページは JSPO の HP の他ページからのリンクはありません。適宜ブックマーク保存をお願いいたします。

3. 資格取得までの流れ

全体視点（概要）

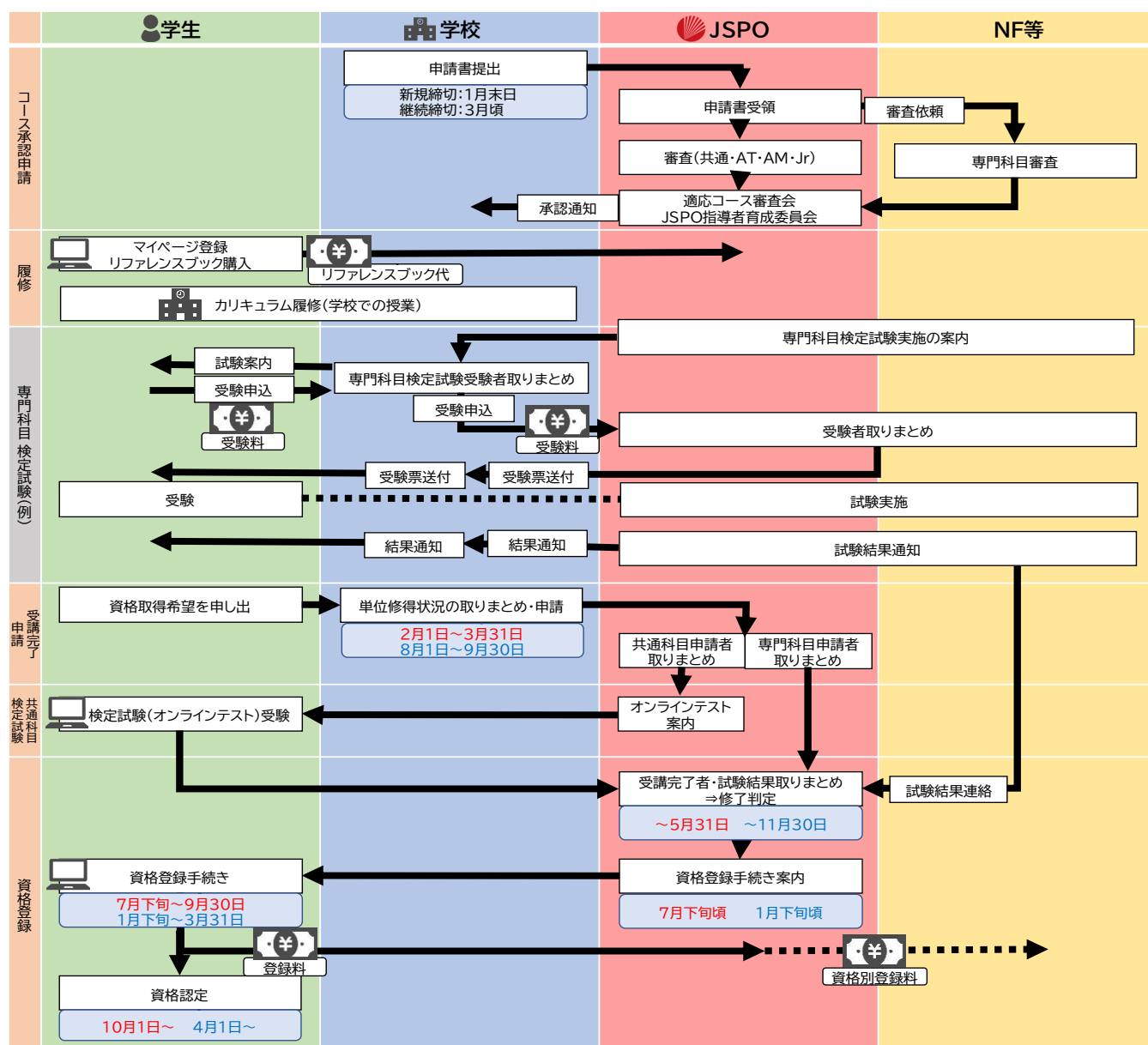
講習・試験免除承認システムでは、学生、学校、JSPO、NF等（JSPO以外の専門科目コース審査団体）の4者が各種の手続きを行い、学生の資格認定まで至ります。

資格認定までの手続きは大きく分けて以下6つのフェーズが存在します（6つの順番はイメージであり、順番が前後したり同時進行したりする場合もあります）。

- ①コース承認申請
- ②履修
- ③専門科目検定試験（専門科目コース開設校のみ）
- ④受講完了申請
- ⑤共通科目検定試験（オンラインテスト）
- ⑥資格登録

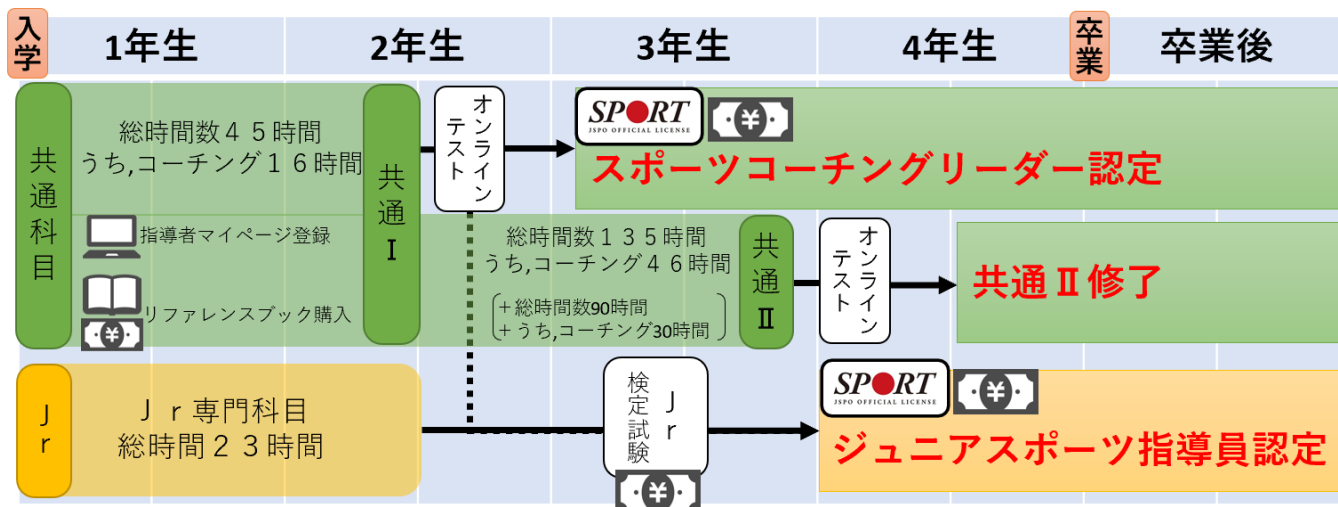
図内の略称

- * JSPO：日本スポーツ協会
- * NF等：JSPO以外の専門科目コース審査団体
- * AT：アスレティックトレーナー
- * AM：アシスタントマネージャー
- * Jr：ジュニアスポーツ指導員



学生視点（概要）

共通科目Ⅱコース、ジュニアスポーツ指導員（Jr）コース承認校において、ある学生が資格を取得するまでの例



共通科目、専門科目ともに、そのコースを修了するためには、所定の単位修得と検定試験（共通科目はオンラインテスト）への合格が必要になります。

スポーツコーチングリーダーについては、共通科目Ⅰコース・Ⅱコース・Ⅲコースいずれかの修了で認定の権利が与えられますが、そのほかの資格は、所定の共通科目と専門科目双方の修了によって、認定の権利が与えられます。

* この学校では、以下のようなパターンで資格取得が可能。

- ・ 共通科目Ⅰのみ = スポーツコーチングリーダー
- ・ 共通科目Ⅰ + Jr 専門科目 = スポーツコーチングリーダー、ジュニアスポーツ指導員
- ・ 共通科目Ⅱ = スポーツコーチングリーダー（+ 共通科目Ⅱまでの修了）
- ・ 共通科目Ⅱ + Jr 専門科目 = スポーツコーチングリーダー（+ 共通科目Ⅱまでの修了）、ジュニアスポーツ指導員

3-①. コース承認申請

【対象】 学校、JSPO、NF 等

JSPO や NF 等（JSPO 以外の専門科目コース審査団体）が提示する免除適応コースカリキュラムを元に、各学校での対応内容を示した書類を作成し JSPO に提出してください（コース承認申請）。この承認申請は、年度ごとに必要な手続きです。継続の場合も必ず期日までに手続きいただきますようお願いいたします。

申請締切

- ・ 新規校：開設する前年度の 1 月末日
 - ・ 継続校：開設する前年度の 3 月頃
- * 既に免除適応コースとして承認されている学校（学部・学科）が、新たにコースを設置する場合は、継続校申請と併せてご提出ください。ただし、書類提出の前に、当該コースの審査団体にあらかじめ新設することをご相談いただくようお願いいたします。
- * 既に免除適応コースとして承認されている学校が、別の学部や学科において新しくコースを設置する場合は、あらかじめ JSPO にご相談ください。
- * 上記締切に関わらず、申請内容の相談等は随時受け付けております。新しくコースを設置する際や、申請内容が大きく変わる場合は、お早目のご対応をお願いいたします。
- なお、書類提出前の相談先は、「免除適応コースで開設できる科目（資格）＊2023 年度以降」に記載しているそれぞれのコースの審査団体となります。

承認通知

ご提出いただいた申請書は事務的な内容確認を経たうえで、JSPO 指導者育成委員会にて審査され、免除適応コースとして承認されます。新規校は 3 月下旬頃、継続校は 7 月上旬頃に免除適応コース承認通知をお送りする予定です。

- * 承認が難しいことが見込まれる場合は、審査前に JSPO からご連絡いたします。

提出書類

提出する書類は申請するコースによって異なります。詳細は「別紙：承認申請時提出書類一覧」をご確認ください。

提出書類の様式等については、以下の URL にてダウンロードができるようになっております。

▼免除適応コース申請書式ダウンロード【承認校・申請準備校専用ページ】

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid929.html>

* 本ページは JSPO の HP の他ページからのリンクはありません。適宜ブックマーク保存をお願いいたします。

提出書類のイメージ

申請するコースごとに、必要書類一式を揃えてご提出ください。

※共通科目と専門科目で、共通するシラバスや講師個票がある場合についても、それぞれのコースごとに必要書類を揃え、添付してください（新カリキュラム、旧カリキュラムを並行して申請する場合も同様です）。

※専門科目（ジュニアスポーツ指導員、アシスタントマネジャー、アスレティックトレーナー以外）については、必要書類③～⑦の写しをコースごとにご提出ください。

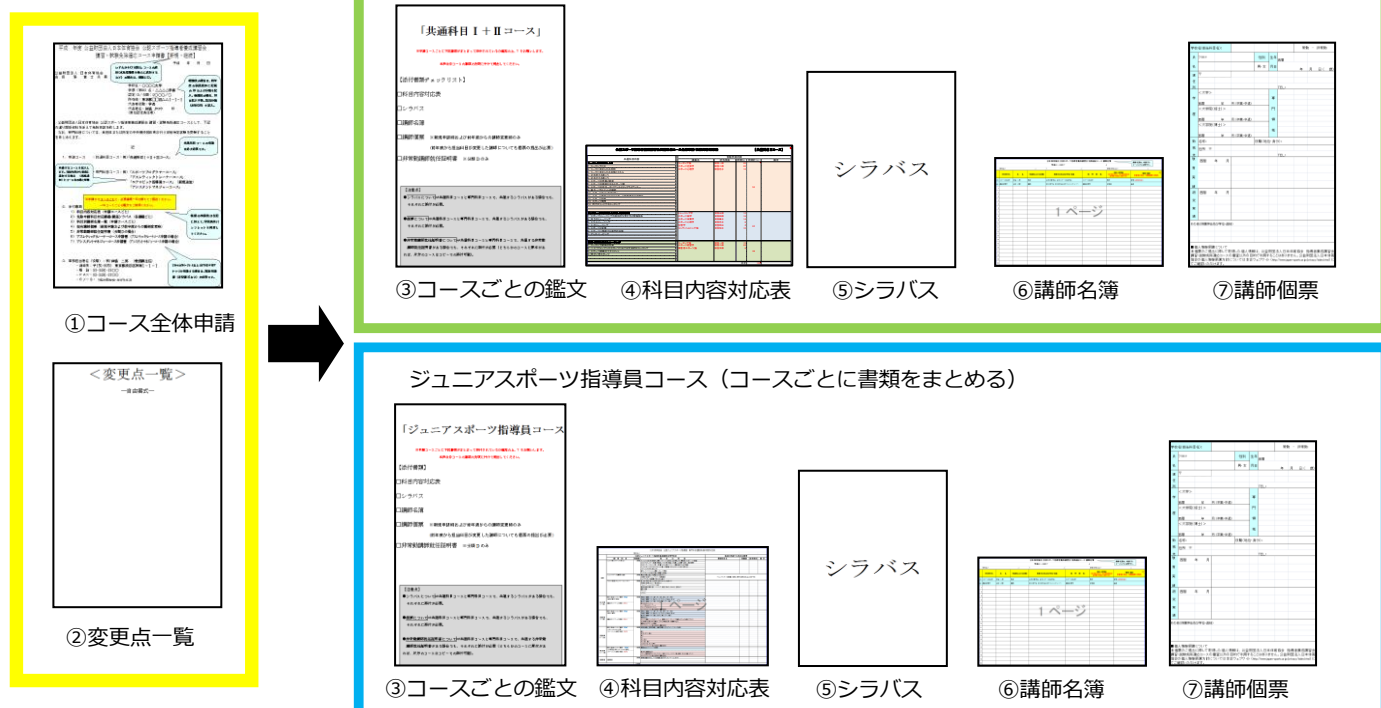
（例）共通科目Ⅲコース及びジュニアスポーツ指導員コースを申請する場合

	共通科目Ⅲ	ジュニアスポーツ指導員
①コース全体申請書	まとめて1部	
②変更点一覧（自由書式）	まとめて1部	
③コースごとの鑑文※注1	コースごと	コースごと
④科目内容対応表	コースごと	コースごと
⑤シラバス	コースごと	コースごと
⑥講師名簿	コースごと	コースごと
⑦講師個票	コースごと	コースごと
⑧③～⑦の写し（1部）※注2	不要	不要

※注1⇒様式集の中にコースごとの鑑文がございますのでご使用ください。

※注2⇒ジュニアスポーツ指導員コース、アシスタントマネジャーコース、アスレティックトレーナーコース以外の専門科目が対象です。当該競技団体にて精査を行いますので、③～⑧の写し（コピー1部）をコースごとにご提出ください。

【書類提出のイメージ】



科目内容対応表

科目内容対応表では、JSPO または NF 等が提示する科目内容と各学校での授業との対応やその時間数等を記載してください。

各学校の講義の中身が科目内容に相当するかはシラバスにて判断します（後述）。

■ 共通科目

- ・「コーチングを理解しよう」「グッドコーチに求められる医・科学知識」「現場・環境に応じたコーチング」それぞれの区分ごとに対応する免除申請内容を記載してください。
- ・一つの講義が区分をまたいで対応することも可能です（例：コーチング論にて「コーチングを理解しよう」20 時間、「現場・環境に応じたコーチング」10 時間を対応）。
- ・申請する共通科目コースに応じて、総時間数と「コーチングを理解しよう」の時間数が下表の時間数以上である必要があります。

	総時間数	コーチングを理解しよう
共通科目Ⅰ	4 5 時間	1 6 時間
共通科目Ⅱ	1 3 5 時間	4 6 時間
共通科目Ⅲ	1 5 0 時間	5 1 時間

* 「グッドコーチに求められる医・科学知識」「現場・環境に応じたコーチング」の最低時間数は設定しません
が、極端な偏りがないよう、ご配慮ください。

* 特に「コーチングを理解しよう」の共通科目内容における講義については、アクティブラーニング形式を活用
することをお願いいたします。

【参考】

公認スポーツ指導者養成講習会共通科目コース免除申請 科目内容対応表					【共通科目Ⅲコース】
共通科目内容	免除申請内容				備考
	講義名	担当教員	時間(h)	時間計(h)	
コーチングを理解しよう 1. コーチングとは 2. コーチに求められる役割 3. コーチに求められる知識とスキル 4. 対他者力を磨こう 5. 対自己力を磨こう 6. スポーツの意義と価値 7. スポーツの価値を守るスポーツ権 8. スポーツの自治・ガバナンスとコンプライアンス 9. 暴力・ハラスメントの根絶 10. スポーツのインテグリティ 11. スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 12. スポーツ仲裁 13. スポーツ倫理 14. 時代をリードするコーチング	コーチング論 スポーツ社会学 スポーツ心理学	体協一郎 体協二郎 体協花子	20 20 12	52	
グッドコーチに求められる医・科学知識 1. スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系 2. 体力のトレーニング 3. スキルトレーニング 4. 心のトレーニング 5. スポーツと栄養 6. スポーツに関連する医学的知識 7. アンチドーピング	トレーニング学 スポーツ医学 スポーツ栄養学 スポーツ心理学 生理学 コンディショニング論	体協三郎 体協四郎 体協華子 体協花子 体協四三 体協和子	12 16 14 6 4 10	62	
現場・環境に応じたコーチング 1. コーチング環境の特徴 2. ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング 3. スポーツ組織のマネジメント 4. 障がい者スポーツ	コーチング論 スポーツ経営学 障害者スポーツ論	体協一郎 体協二郎 体協太郎	10 22 6	38	
合計				152	

■専門科目

- ・専門科目についても、各資格が定める内容・時間数を満たした対応表を作成してください。
- ・専門科目によっては、対応表とは別に申請基準を設けている場合があります。

シラバス

- ・科目内容対応表に記載された授業のシラバス（各学校で利用している様式）をご提出ください。
- ・シラバスで記された授業の各回の名称は科目内容と完全に合致する必要はありませんが、おおよそ合致していることが推定されるようご配慮ください。

講師名簿・講師個票

- ・コースごとに授業を担当する講師の基準が設けられています。
- ・講師名簿にはその科目において授業を担当する講師の一覧を記載、講師個票には講師一人ひとりの経歴等を記載ください。
- ・講師個票は新しくコースを設置した際、または、授業を担当する講師が変わった際にご提出ください。

養成主任

- ・設置コースに関わらず、以下の要件で各学校に1人以上の養成主任の配置を義務付けます。

- ①養成主任は、共通科目コースの運営（カリキュラム編成、講師編成等）をマネジメントできる者であること
- ②養成主任となる者は、免除適応コースを申請する年度までに、コーチデベロッパー養成講習会を修了すること
- ③養成主任は当該学校の専任教員であること

* 2022 年度までに申請したコースにおける配置義務付け開始年度は、共通科目Ⅲコースは 2025 年度、共通科目Ⅱコースは 2027 年度です。共通科目Ⅰコースは、2024 年度までに決定します（早くても 2028 年度）。

■コーチデベロッパーとは

コーチデベロッパー養成講習会開催要項抜粋

公益財団法人日本スポーツ協会（以下「当協会」という。）は、グッドプレーヤーを育てるグッドコーチ（公認スポーツ指導者）を養成するための共通科目集合講習会において、アクティブラーニングを主体とした学びの場を提供する。

そのため、スポーツの価値を高めるための時代をリードするコーチング（プレーヤーの目標達成に向け、プレーヤーの有能さと人間性を高めていく支援を行っていくプロセス）について正しく理解し、常に学び続けるとともに、受講者の学びを支援することのできるコーチデベロッパー（コーチ育成者）を養成する。

- * 免除適応コースにおいても、通常の養成講習会と同様に学修者本位の学びを支援することを目的に、コーチデベロッパーを養成主任として配置することを要件にしています。
- * コーチデベロッパー養成講習会は、毎年度免除適応コース承認校や申請準備校を推薦団体として、受講者の募集をいたします。

3-②. 履修

【対象】 学生、学校

承認された教育課程を各学校で実施し、学生は所定の授業を履修します。

履修の前には、各学校で定められた免除適応コースの教育課程および申請方法等を学生に説明してください。

また、免除適応コースを履修する学生は、指導者マイページの作成とリファレンスブックの購入が必要であることをお忘れなくお伝えください。

指導者マイページの作成

「指導者マイページ」は、資格の養成講習会を受講する方や、資格を保有している方向けのインターネットサービスです。

共通科目の検定試験であるオンラインテストを受験する際に、「指導者マイページ」へのログインが必要になりますので、後述する受講完了申請よりも前には必ず作成するよう、学生にお伝えください。

指導者マイページの作成方法

「指導者マイページ」は、学生個人がインターネットで手続きを行ってください。一般的なインターネットサービスと同様、作成には個人のメールアドレス（キャリアメール以外推奨）が必要になります。

①以下の URL、もしくは JSPO の HP から「指導者マイページ」のログイン画面にアクセスしてください。

■URL : <https://my.japan-sports.or.jp>

■JSPO トップページの中腹「サービス」内の「指導者マイページ」をクリック

②ログイン画面内の「新規登録」をクリックし、以後は画面の指示に従ってください。

* ログイン画面には「[指導者マイページのアカウント取得方法\[PDF\]](#)」も掲載しておりますので、必要に応じてご確認ください。



リファレンスブックの購入

リファレンスブックは、公認スポーツ指導者資格の共通科目の講習中はもちろんのこと、講習終了後も、スポーツ指導を行う際に何度もリファレンス（参照・参考）できるものとして位置付けています。

免除適応コースの学生も通常の養成講習会の受講者と同じ内容を学んでいただくとともに、資格取得後もスポーツ指導を行う際にリファレンスするため、リファレンスブックの購入を義務付けます。

なお、管理システムへご登録いただくことで、各学生の購入実績の確認・購入実績の登録が可能となります。

管理システムマニュアルは[こちら](#)

* 共通科目Ⅰ～Ⅲのいずれを申請する場合でも、利用するリファレンスブックは同じものとなります。

* 授業での利用は必須ではありませんが、可能な限りご利用ください。

* 共通科目検定試験（オンラインテスト）はリファレンスブックに基づき出題されます。

3-③. 専門科目検定試験

【対象】 学生、学校、JSPO、NF 等

専門科目検定試験の開催方法、時期、受験料等は、資格によって異なります。それぞれの専門科目コース審査団体（JSPO、NF 等）から案内がありますのでその指示に従ってください。

* 審査団体は [P8](#) の「免除適応コースで開設できる科目（資格）*2023 年度以降」を参照。

各資格共通の注意事項

専門科目検定試験を受験できるのは、以下の要件を満たした者となります。

* 資格ごとに別途受験の要件が定められている場合は、以下に記載の要件よりも資格ごとの受験要件が適用となります。詳細は専門科目コース審査団体（JSPO、NF 等）の案内をご確認ください。

在学生の場合

- ・ 受験資格に必要な共通科目コースを修了している、または受講中である。
 - ・ 受験資格に必要な専門科目コースの受講（単位修得）を完了している、または、1 年以内に受講（単位修得）完了見込みである。
- * 専門科目コースを受講（単位修得）完了見込みで検定試験を受験した在学生在が、1 年以内に受講完了申請をしなかった場合、試験結果は無効となります。

卒業生の場合

- ・ 受験資格に必要な共通科目コースを修了している。
- ・ 受験資格に必要な専門科目コースの受講（単位修得）を完了している。

3-④. 受講完了申請

【対象】 学生、学校、JSPO

資格取得の希望があり、免除適応コースの所定の教育課程の受講が完了（単位修得）している学生を取りまとめ、JSPO に申請してください。受講完了申請をすると当該免除適応コースにおいての講習が“受講済”の状態となります。

学生からの資格取得の希望や単位修得状況の確認・管理方法については、各学校にお任せいたします。

申請要件

共通科目・専門科目

- ・資格取得の（資格登録手続きをする）意思があること。
- ・免除適応コースとして承認されている所定の単位を修了していること。
- ・免除適応コースとして承認されている学校の在学学生であること。
- ・指導者マイページでアカウントを作成していること。
- ・リファレンスブックを購入していること。

専門科目

- ・当該資格に必要な共通科目コースの受講完了申請をすでに申請済みであるか、同時に申請していること。

申請期間

資格登録手続き期間の都合上、受講完了申請の申請期間は年に2回、8月1日～9月30日、2月1日～3月31日とさせていただきます。

ただし、共通科目の修了要件のオンラインテストの合格にも年に2回の締切があるため、それをご考慮の上、お早めの申請をお願いいたします（P19、21 参照）。

手続き

管理システムから申請をお願いいたします。（別途案内）。

その他・注意事項

- ・受講完了申請では手数料はかかりません。ただし、資格認定のためには、資格ごとに定められた登録料を学生個人に支払っていただく必要があります。
- ・受講完了申請だけでは、資格の認定や科目の修了とはなりません。必ずその後の手続きを完了し、資格取得の意思がある方が、申請するようにしてください。
- ・受講完了申請後、検定試験の受験有効期間は、当該申請期間の最終日から4年間（アスレティックトレーナーを除く）となります。

3-⑤. 共通科目検定試験（オンラインテスト）

【対象】 学生、(学校)、JSPO

学校が JSPO に対し、共通科目の受講完了申請をした後、JSPO から学生に対し、共通科目検定試験（オンラインテスト）に関する案内を送ります。

イメージ



問題数

- ・ 共通科目Ⅰ：50 問
- ・ 共通科目Ⅱ：100 問
- ・ 共通科目Ⅲ：200 問
- ＊それぞれ 3 章で構成

合格ライン

共通科目Ⅰ～Ⅲいずれも、1～3 章それぞれで 6 割以上の正解

その他

- ・ 受験期間内であれば何度でも受験でき、リファレンスブックを用いて学習しながら解答することが可能なものになっています。
- ・ オンラインテストのシステムへは PC、スマートフォン、タブレット等でアクセスが可能です。
- ・ 受験期間内であれば解答の制限時間はありません（無操作状態で 3 時間経過すると自動でログアウトします）。
- ・ 途中保存も可能です。
- ・ 受験は個人で行うことが可能です。監督は必須ではありませんが、必ず本人が実施する様にご指導ください。
- ・ 集団で受験する機会を設けることは可能ですが、相談等しながら解答することがないようご注意ください。
- ・ オンラインテストに合格すると共通科目が「修了」となります。修了の時期により資格認定の時期が異なりますので、年に 2 回の締切にご注意ください（P21 参照）。

3-⑥. 資格登録

【対象】 学生、JSPO

共通科目を修了、もしくは共通科目と専門科目双方を修了した学生に対して、JSPO から資格登録手続きの案内を送ります（メールとハガキ）。登録手続きを完了して初めて資格として認定されます。

なお、この手続きは JSPO と学生間で行われるため、学校に行っていないと手続きは基本的にはありません。

修了要件

共通科目 * ①～③は順に満たさなければならない

- ①指導者マイページ作成・リファレンスブック購入
- ②共通科目コースの受講完了申請
- ③共通科目検定試験（オンラインテスト）の合格

専門科目 * 順番は問わない

- ①専門科目コースの受講完了申請
- ②専門科目検定試験の合格

*すでに認定されている資格（スポーツコーチングリーダー等）の有無と新たに修了した科目の内容によっては、登録手続きは必要ありません。

*スポーツコーチングリーダーの認定を受けている学生が、共通科目Ⅱ、共通科目Ⅲを修了した場合は、当該学生の指導者マイページ上に「保有科目」としてそれぞれの科目が表示され、今後他の資格を取得する際に、共通科目の免除を受けることが可能です（**共通科目を修了してもスポーツコーチングリーダー等の登録手続きが完了し資格認定されていない状態の場合、他の資格を取得する際に共通科目の免除を受けることができませんのでご注意ください**）。

■修了科目と認定資格のパターン（一部）

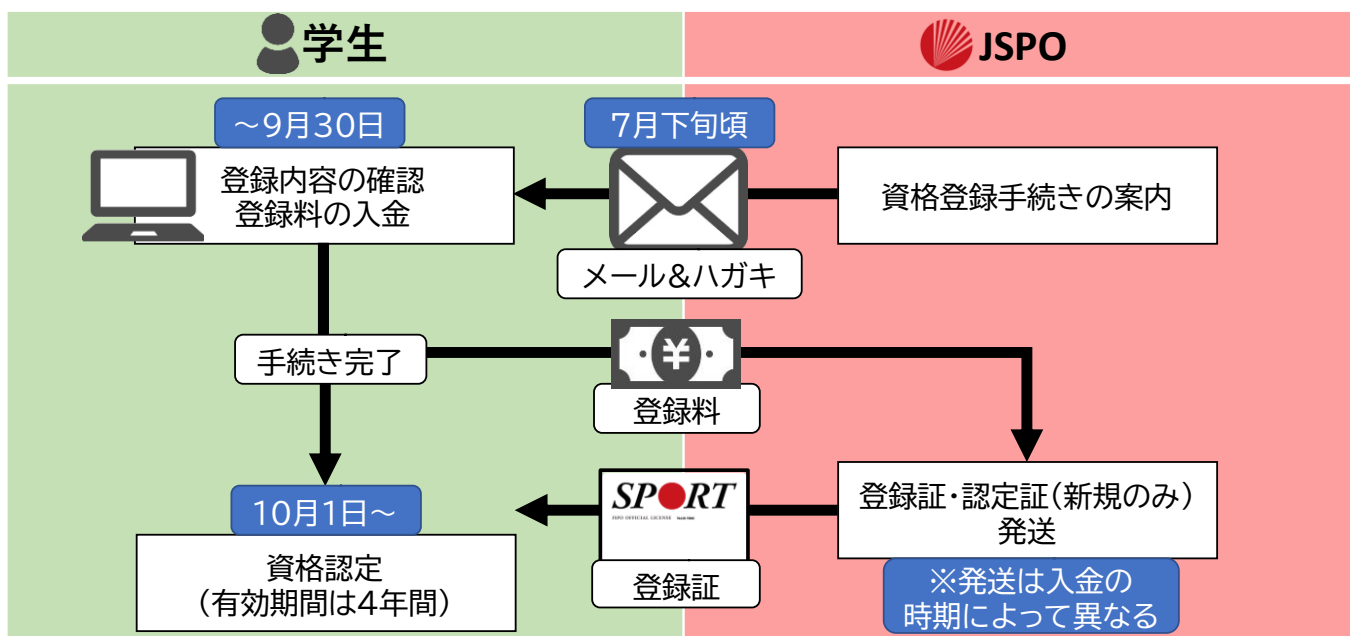
	すでに認定されている資格	新たに修了した科目	登録 手続き	新たに認定される資格
例 1	なし	共通科目Ⅰ	要	スポーツコーチングリーダー
例 2	なし	共通科目Ⅰ ジュニアスポーツ指導員	要	スポーツコーチングリーダー ジュニアスポーツ指導員
例 3	なし	共通科目Ⅱ	要	スポーツコーチングリーダー
例 4	スポーツコーチングリーダー	共通科目Ⅱ	不要	なし
例 5	スポーツコーチングリーダー	共通科目Ⅲ アスレティックトレーナー	要	アスレティックトレーナー
例 6	ジュニアスポーツ指導員	共通科目Ⅱ	不要	なし

登録手続きの流れ

	4月1日付登録	10月1日付登録
受講完了申請【学校⇒JSPO】	8月1日～9月30日	2月1日～3月31日
共通科目（+専門科目）の修了* 【学生・学校⇒JSPO】	～11月30日	～5月31日
登録手続きの案内【JSPO⇒学生】	1月下旬頃	7月下旬頃
登録手続き期間【学生】	1月下旬～3月31日	7月下旬～9月30日
資格認定	4月1日～	10月1日～

* 修了要件は [P20](#) 参照

■ 10月1日付登録の登録手続き * 4月1日付登録は半年ずれたスケジュール



登録料

登録料は4年ごとに4年分を一括納入する必要があり、以下の種類があります。

2022年10月現在

基本登録料	10,000 円／4 年間	保有する資格数に関わらず、一律でかかる登録料。
初期登録手数料	3,300 円／1 資格 ※2023 年 4 月登録から 3,300 円	その資格を初めて登録する際にかかる手数料
資格別登録料	資格により異なる	保有する資格ごとの登録料。

* すでに取得している資格の有効期間内に別の資格を取得した場合、新たに取得（追加）した資格の「資格別登録料」を有効期間に応じた期割（4年8期）で納入する必要があります（「基本登録料」は必要ありません）。

■ 免除適応コースで取得できる資格の資格別登録料（2022 年 4 月現在）

資格名		資格別登録料
スポーツコーチングリーダー		0 円
ジュニアスポーツ指導員		0 円
アシスタントマネジャー		0 円
アスレティックトレーナー		10,000 円
スポーツプログラマー		10,000 円
水泳	コーチ 1	10,000 円
	教師	10,000 円
競泳・水球・飛込・AS・OWS		コーチ 3 10,000 円
テニス	コーチ 1	5,000 円
	コーチ 2	5,000 円
	教師	10,000 円
ホッケー	コーチ 3	4,000 円
バレーボール	コーチ 1	0 円
セーリング	コーチ 1	4,000 円
ハンドボール	コーチ 1	0 円
	コーチ 3	0 円
ソフトテニス	コーチ 1	0 円
アーチェリー	コーチ 1	5,000 円
空手道	コーチ 1	8,000 円
ボウリング	コーチ 1	4,000 円
エアロビック	コーチ 1	10,000 円
	教師	10,000 円
バドミントン	コーチ 1	4,000 円
	コーチ 2	4,000 円

例 1) **スポーツコーチングリーダー** を新規登録

基本登録料 10,000 円 + 初期登録手数料 3,300 円 + 資格別登録料 0 円 = 13,300 円

例 2) **スポーツコーチングリーダー** と **ジュニアスポーツ指導員** を同時に新規登録

基本登録料 10,000 円 + 初期登録手数料 3,300 円 × 2 資格分 + 資格別登録料 0 円 = 16,600 円

例 3) **スポーツコーチングリーダー** の有効期間中に **ジュニアスポーツ指導員** を新規(追加)登録

基本登録料 0 円 + 初期登録手数料 3,300 円 + 資格別登録料 0 円 = 3,300 円

Q&A

Q 共通科目Ⅲコースを設置していますが、オンラインテストは共通科目Ⅰ、共通科目Ⅱと段階を踏んで受験しなければいけませんか？

A いいえ。段階は踏まずに、共通科目Ⅲのオンラインテストを受験することが可能です。ただし、共通科目Ⅰを修了した段階で、すぐにスポーツコーチングリーダー資格が欲しい等の場合は、段階的な受験をおすすめします。

Q 受講完了申請を行った学生が、検定試験を受験せずに、4年経過してしまいました。再度検定試験を受験したい場合どうすればいいですか？

A 受講完了申請から検定試験を受験せず（合格せず）に4年が経過すると、検定試験受験の権利がなくなり、受講完了申請が無効になります。つまり、一から養成講習会等を受講いただく必要があります。

Q 共通科目と専門科目を修了し、資格登録の権利を得た学生が、登録手続き期間中に手続きを完了しませんでした。この場合はどうなりますか？

A 登録手続き期間中に手続きを完了しなかった場合、当該資格を「未登録」として認定を「保留」いたします。「保留」の期間は最長1年間であり、その期間中にある、2回の登録手続き期間中に手続きを行うことが可能です。「保留」期間中にも手続きを行わなかった場合、登録の権利を失い、資格ごとに定められた要件を満たさなければ登録することができなくなります。

Q アスレティックトレーナー資格についても、共通科目を新カリキュラムで修了するとともに、専門科目についても在学中に履修を終え、検定試験の受験条件をクリアすれば、在学中（卒業年次以外）での専門科目検定試験の受験及び資格取得は可能ですか？

A 専門科目における検定試験では、別途、受験要件を定めている場合がございますので、それぞれの審査団体（競技団体、協同認定団体）へ適宜お問合せください。ちなみに、アスレティックトレーナー資格については、検定試験実施要項において「学校を卒業する年度より前に受験することはできない」としておりますので、卒業年次以外の在学生の検定試験の受験及び資格取得は認められません。

各種規程・資料・様式等

* 公認スポーツ指導者制度や講習・試験免除承認システムに関わる規程や資料・様式等は、JSPO のホームページにて最新版を公開しております。

▼公認スポーツ指導者-各種規程ほか

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid1158.html>

▼免除適応コース申請書式ダウンロード【承認校・申請準備校専用ページ】

<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid929.html>

* 本ページは JSPO の HP の他ページからのリンクはありません。適宜ブックマーク保存をお願いいたします。